

《今朝の聖書から》 大石 操

1節に「そこで、あなたがたのうちの長老たちに勧める」とあります。(ああ、私は長老ではないから関係ないか)と思わないで下さい。教会生活について大切な事が具体的に教えられているのです。長老という言葉は、私たちには馴染みのない言葉です、私たちの教団では役員のことでしょうか。皆さんは今、色々な事情で役員を辞退されていますが、ほとんどの方が役員を経験されていると思います。ですから、クリスチャンとして聞いてください。2節に「神の羊の群れを牧しなさい」とあります。《牧す》といえば牧師の仕事です。でも、長老たちに勧めるとあります、私たちも牧する責任があるのです。そして、しいられてする(いやいやする)のではなく、神に従って(神の真似をして)自ら進んでなし。恥ずべき利得のためではなく(損得を考えず)本心から(熱心から)それをしなさい。と続きます。そして今日のポイントです、5節「若い人たちよ、長老達に従いなさい。また、みな互いに謙遜を身に着けなさい・・・」ここに、(みな互いに謙遜を身に着けなさい)とあります、(みな)ということは、若い人、中高年の人、長老もです。ペテロは謙遜を結び紐で結ばれた前掛けの様なものを着けるように身に着けなさいと勧めています。日本には(いいえ、私にはそのような事はとても出来ません)というような謙遜の美德のようなものがありますが、謙遜は外にあるものです。そこで、最後の晩餐の時の事を思い出してください。イエス様は「夕食の席から立ち上がって、上着を脱ぎ、手ぬぐいをとって腰に巻き、それから水をたらいに入れて、弟子たちの足を洗い、腰に巻いた手ぬぐいでふき始められた」(ヨハネ13:4~5)イエス様は、ご自身から弟子達の足を洗って、謙遜に仕え合う事を示されました。私達は、イエス様に愛されているという思いから、真実にへりくだって、他者を生かし、他者を受け入れる思いを持って教会生活を送りたいと思います。そして、互いに指導し、指導される喜びを味わいたいものです。

週報

2007年 5月 20日



主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。
使徒行伝16:31

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

牧師 村上定幸